

令和3年4月（第1回）役員会議事要旨

日時 令和3年4月26日（月）13:00～13:37

場所 （ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を利用）

出席者 8/8

榎野学長，高橋理事，舟橋理事，那須理事，前田理事，袖山理事，阿部理事，青山理事

欠席者 なし

陪席者 青山監事，大原監事

○ 議題に先立ち，学長から，新任の役員等の紹介があり，それぞれ挨拶があった。続いて，袖山事務局長から，新たに陪席することとなった事務系幹部職員の紹介があり，それぞれ挨拶があった。

○ 前回議事要旨の確認

令和3年3月（第12回）の議事要旨について，原案のとおり承認された。

○ 議事

1 報告事項

(1) ダイバーシティ&インクルージョンポリシーの改定について

高橋理事から，昨年4月に神例副学長（当時）を委員長として，ダイバーシティ&インクルージョン推進委員会を設置し，現行のダイバーシティポリシーをさらに発展・進化させたポリシーの改定案等を検討いただき，この度その案が取りまとめられたため，審議いただきたい旨説明があった。続いて，神例上席副学長から，資料1に基づき，当該「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー（案）」及び「岡山大学におけるD&Iの現状と課題及び第4期中期目標期間に向けた提言」は，事前に学外有識者，岡山大学SDGsアンバサダー及びSDGs未来懇談会の学生メンバーへの意見，さらに若手教職員による岡山大学未来懇談会での議論等を経て，最終的に「ポリシー（案）」及び「提言」として取りまとめたこと，また，改正に至る経緯の概要，「ポリシー（案）」の改正点及びその内容並びに「提言」の概略について説明があった。また，岡山大学未来懇談会からカタカナ語が多くわかりづらいとの指摘があり，D&I企画推進委員会で検討した結果として，いずれの語もD&Iを考えるキーワードであり一義的に訳語を示すことが困難であり，訳語を示すこと自体が問題を生じさせかねないこと等の理由からあえてそのまま当該カタカナ語を使用したことの説明があり，併せて，6月30日に「D&Iフェスティバル」の開催を予定している旨補足説明があり，審議の結果，提案のとおり承認された。

なお，ポリシー制定後の具体的な施策内容（例：「大学あったらいいもの」アンケート結果（P25～27/84）の回答に挙げられた事柄に対する具体的な対処方策）に関しては，どの程度実施される予定であるか質問があり，今後の予定として，まずは第4期中期目標・中期計画終了時に向けて，そこから逆算する形であるべき岡山大学のD&Iの姿というものをイメージし，工程表を作成して説明していくことから始め，また，今回学内外から意見をいただいているため，常にフィードバックする形で取り組みを進めていきたいと考えている旨回答があった。また，継続的にどのような変化があった

のか振り返りを定期的実施してほしい旨意見が出された。

(2) 寄付講座の存続期間の更新について

那須理事から、資料2に基づき、令和3年4月1日付けで存続期間を更新することとした医歯薬学総合研究科設置の3件の寄付講座（「地域医療人材育成講座」、「岡山県南東部（玉野）総合診療医学講座」及び「運動器スポーツ医学講座」）及び教育学研究科設置の1件の寄付講座（「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」）の存続期間の更新をしたこと、及び各寄付講座の概要について説明及び報告があった。

2 その他

(1) 次回開催日について

今回は、5月31日（月）13時00分から開催することとなった。

以上